

国土交通省「住宅市場を活用した空き家対策モデル事業」

昨年度) モデルケースの検討

良好な戸建てエリアの住環境を保全しながら
地域の魅力と利便性を高める

シェアオフィス、
食の提供、地域福祉の拠点など

➡ 居住の安心の提供、地域の価値を高める

空き家・空き地の活用による サービス拠点づくりのイメージ

空き家や空き地が近くにある場所では、
いろいろなタイプの施設を組み合わせて、
地域の生活を支える拠点を整備することが可能です。

複合施設タイプ

空き家を活用して、近隣への食事提供サービス(惣菜・半調理品の販売、イートイン)を核として、シェアオフィス(テレワーカー、シニア、主婦など)、宅配ボックス、無人コンビニ等の機能を導入した多機能な拠点施設を導入するイメージです。

拠点 01
気軽に食事ができたり、半調理品や惣菜を買えたりする場所を提供できるという、健康的なものがいいわね。
地域起業家の Aさん

拠点 02
テレワークが揃っているから、郊外にシェアオフィスをつくらうとする動きも出ているよ。
不動産会社の Bさん

単独施設タイプ

空き家を活用して、民間学童、デイサービス、ナーシングホームなどの子育て世帯、高齢者へのサービス施設を導入するイメージです。拠点①から食事サービスの提供を受けることもできます。

拠点 01
近いところに学童が欲しいという声を受けて、空き家を活用したコンパクトな施設をつくってほしいな。
民間学童施設の Cさん

拠点 02
ナーシングホームなどの医療サービスも提供できる住宅型の施設が必要とされていると思います。
医療法人施設の Dさん

10人未満の小規模デイサービスならば空き家で成立します。民ながらの個室がある家だと広く使えて便利です。
介護施設運営の Eさん

今年度) 実現に向けた取り組み

- ① 空き家等の物件の掘り起こし・整理
- ② 空き家等の物件の情報発信
- ③ 空き家等を活用する民間事業者等の抽出選定
- ④ 空き家等を活用する民間事業者等への物件紹介内覧
- ⑤ 空き家等所有者及び民間事業者等のマッチング
- ⑥ 賃貸化物件の整備
- ⑦ 賃貸契約の締結

国土交通省住宅局
住宅市場を活用した
空き家対策モデル事業
の事業採択を受け実施中
【事業主体】
高蔵寺まちづくり株式会社

★シェアオフィス・食の提供等

★学童や高齢福祉施設等

実現化に向けた検討、所有者・事業者協議等

☆実現化に向けた課題の顕在化
(用途制限、事業採算性など)

☆実現化手法やノウハウの蓄積
(事業スキーム、交渉など)

「利活用事業の実施」「実施に向けた検討」を通じて...

第一種低層住居専用地域/第一種中高層住居専用地域での
空き家活用のハードル、問題点の整理

➡ 対策の方向性やその必要性を提議